

令和5年度 理数生物（3年・理AB選・川端クラス）シラバス

教科・科目	理数生物	学年	3年	単位	4	分類	A・B 選択
教科書	東京書籍「改訂 生物」(生物 306)						
副教材	第一学習社 スクエア最新図説生物 neo 東京書籍 ニューグローバル 生物基礎+生物 リクルート スタディサプリ 「高3生物」						

学習目標	<p>生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 生物学における基本的な概念、原理・法則などについての系統的理解を深め、科学的に探究するために必要な知識や技能を身につけるようにする。【知識及び技能】</p> <p>(2) 生物や生物現象に関して、観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>(3) 自然に対する関心を高め、事物・現象を科学的に探究しようとする態度を養う。 【学びに向かう力、人間性等】</p> <p style="text-align: right;">※ 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 理科編 理数編 理数生物より</p>
------	--

授業スタイル	担当教諭の役割	<ul style="list-style-type: none"> ・主としてコーチング、ファシリテーター、メンターなど、サポーターとして専念する。 ・必要に応じて一斉授業形式のティーチングを行う。 ・授業進行のペースメーカーとしての役割(単元の進行や単元別テスト実施日の設定)。 ・スタディサプリ講義動画テキスト(穴埋め版)や確認小プリント等の配布。スタディサプリ各講義に対応したチェックプリント(講義動画に対応した教科書や問題集の範囲、及び、視点、注意点)の提示と配布。 ・生徒一人ひとりが安心安全の場で学ぶことができる環境づくり。 ・生徒の希望進路、単元別テストの結果、生徒の学びのスタイル、校外模試の結果、スタディサプリ取り組み状況などから、個々に合わせたアドバイスを行う。個別コーチング。
	生徒の学び	<ul style="list-style-type: none"> ・基準となる単元の進行や単元別テスト実施日をもとに、学習ペースを自ら調整する。 ・教科書、図説、参考書、スタディサプリ等の講義動画を活用し、自分に合った学びのスタイルを確立する。 ・単元ごとに目標設定を各自行い、目標到達までの方法も自ら考え実行する。 ・単元ごとに学習理解度や学習方法を振り返り、次の学びに繋げる。

単元別テスト	単元別テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・単元終了後、適当な時期に単元別テストを行う(定期考査とズレる)。 ・マークシート形式 & 記述で行う。 ・学校指定問題集と同じ問題は出さないが、同じレベルの問題を出題する。 ・平均点が 65~75 点になるような問題作成に努める。
	事前学習用紙のルール	<ul style="list-style-type: none"> ・事前学習用紙(A4)を事前に配布し、テスト中の持ち込み可とする。 ・手書きであれば何を書いてもよい。色分け、色塗り可。 ・テスト点や評価には入れない。 ・書かなくてもよい。

提出物	<ul style="list-style-type: none"> ・ノート提出、スタディサプリ講義テキスト(穴埋め版)の提出なし。 ・ファイル提出なし。 ・実験レポートの提出あり。 ・目標設定と学習計画(学習カルテ)の作成と提出。
-----	---

ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディサプリ等の講義動画は、各自のスマートフォンやタブレット、イヤホンを用いて視聴する。 ・スタディサプリテキストや確認小プリント、チェックプリント(教科書の範囲、視点・注意点の提示)の記入例や解答は、OneNote で配布。 ・学びの PDCA サイクルチェック及び目標設定を、Forms に入力して提出。
-------	--

観点別学習評価	観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・単元別テスト ・確認小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元別テスト ・実験レポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況の把握と改善 ・学習方法の試行錯誤 ・学習計画のプランニングと改善